

2018年度 日本板硝子株式会社 入社式挨拶（要旨）

2018年4月2日

日本板硝子株式会社
取締役代表執行役社長 兼 CEO

森 重樹

皆さん、入社おめでとうございます。

日本板硝子の新しい仲間としてスタートする皆さんを、心から歓迎します。

今日は「ガラスの新しい可能性」という視点から、皆さんへの期待をお話したいと思います。

1918年創業の日本板硝子は、今年100周年を迎えます。アメリカで発明された当時最先端のガラス製造技術を日本に導入することで始まった当社は、今日のベンチャー企業のように新しい技術を次々に取り入れ、ものづくりの技術を磨き、市場を開拓して、成長を続けてきました。

建物や乗り物の窓から、太陽電池、スマートフォン、プリンター、自動車エンジンのベルトやバッテリー、さらには化粧品や塗料など、ガラスが活躍する場面は100年の間に大きく広がってきました。しかし、「技術の進歩とともにガラスの新しい可能性を追求する」という日本板硝子の姿勢は変わっていません。

では、これからのガラスの可能性はどこにあるのでしょうか？

そのヒントとなるのが「第4次産業革命」とも言われる、現在進行中の大きな変化です。「蒸気」という新しい動力が現れた「第1次産業革命」は、「電気」と「石油」による大量生産を可能とした「第2次の革命」へ、さらに「コンピューター」による自動化を広めた「第3次の革命」へと進み、すでに始まっている「第4次の革命」では「ITやAI」が人々の生活や産業の在り方を劇的に変えようとしています。つまり、私たちの生活を取り巻くさまざまな「モノ」がインターネットとつながり、「IT」や「AI」がそれを処理し制御することが当たり前の世界になります。

このような変化の中で、ガラスに何が求められるか？ガラスに何ができるか？皆さんと一緒に考えていけると思うと私自身ワクワクします。

かつてガラスには、食べ物などモノを蓄えるという機能（容器）、或いは雨や風の侵入を防ぐ機能（窓）しかありませんでした。しかし今では、ガラスは光や電磁波をコントロールしたり、電気を通したりできるようになりました。これらの機能が、太陽光発電パネルとして電気を生み出したり、光通信デバイスとして大量の情報を伝えたり、また、大型サイネージからモバイル端末まで様々なディスプレイとして情報を表示することを可能にしました。さらには様々な素材（例えばプラスチックやゴムなど）と複合的に使用することにより、新しい機能や性能を付加することができるようになりました。最近、私は「ガラスはセンサーになる」と言っています。自動運転車が拡大するなかでガラスはセンサーとしても重要な機能を果たすことになるでしょう。

このようにガラスの可能性は技術の進歩とともにますます広がっていきます。皆さんには、新鮮な発想と若々しい行動力で「ガラスの可能性」を追求して欲しいと思います。

皆さんは今日から日本板硝子グループの一員としてビジネスの現場に立ちます。そこで私から、これから仕事をしていくうえでの心構えとして3つの言葉を皆さんに送りたいと思います。

1. 自分の担当は自ら責任を持ってやりぬけ

皆さんはまもなくビジネスの現場に配属されて仕事を任せられます。それが大きなものであれ小さなものであれ、皆さんに与えられた責任になります。まず、その仕事を、責任を持ってやり抜く姿勢を身につけて下さい。失敗しても構わないから、責任を持って、逃げずに最後までやりきることが、皆さん自身を育てることになると考えて下さい。

2. 仲間を尊重し、仲間を信頼せよ

仕事は一人ではできません。チームメイトとの協力があるからこそ立派な成果をあげることができます。当社は世界の100以上の国々に製造・販売拠点をもち、27,000人の仲間がビジネスに携わっている「グローバルカンパニー」です。「グローバル」とは各国の人々の行動が複雑に影響し合うビジネス環境を意味します。グローバルな環境で仕事を始める皆さんには、国籍や人種、性別にとらわれず、お互いの多様性を尊重し、世界の仲間と共通の目標達成に取り組む姿勢を持っていただきたいと思えます。

3. 個性豊かに自分らしく生きよ

会社は本来、自己の素質や能力などを高め、より完全な自己を実現してゆく「自己実現の場」であるべきだと私は考えています。

日本板硝子グループは現在「V A ガラスカンパニーへの変容・変革」に取り組んでいます。これは、お客様にとって真に必要な「価値」を提供する会社になるということの意味しています。そういう会社になるためには社員自らが「価値」ある、V A 人材であって欲しいと思います。そのために、日々研鑽し個性豊かな魅力ある人間に育っていただきたいと思えます。

最後に日本板硝子の事業精神についてお話しします。当社は400年の歴史を持つ住友グループの一員として、住友の事業精神、すなわち「事業は人なり」「信用を重んじ確実を旨とする」「目先の利益にとらわれない」「技術を尊重する」「事業で社会に貢献する」という企業理念を受け継ぎ、これを守っています。私自身も経営の判断に迷った時にはこの精神に立ち返り、事業の方向を決める重要な指針としています。皆さんにも入社研修の中でこの精神をしっかり学んでいただきたいと思えます。

皆さんの持てる力を存分に発揮して、次の100年に向けて第一歩を踏み出し、力を合わせて「ガラスの新しい可能性」を追求していきましょう。

皆さんの入社を心からお祝いし、歓迎の挨拶といたします。

以上